

を楽しむ、水に触れることのできる都市空間を創出します。

●三河大塚駅公衆便所設置

三河大塚駅のトイレは駅舎内にあり、乗降客の多い時期、一度に多数の方がトイレを使用すると対応できない状況です。今後、「ラグーナ蒲郡」や中高一貫校の「海陽学園」の開園(平成18年度予定)、「さがらの森」の施設の充実に伴い、三河大塚駅の利用者が多く見込まれるため、駅利用者が安心して使用できる公衆便所を新設します。



自然と共生するまち蒲郡

生活排水対策および
快適な都市環境づくり

●アオサ堆肥化実験場整備

富栄養化が著しい三河湾では、春から夏にかけて大量に発生し

たアオサが砂浜に打ち上げられ、波打ち際の景観を損ねるとともに腐敗して異臭を放ちます。この

アオサを回収し、剪定枝チップと混合してできる堆肥の有効性を検証するため実験場を整備します。この実験は、万博関連事業に位置づけられており、三河湾を通じて循環型社会を目指していきます。

●エコバック運動推進事業

エコバック運動とは、買い物時にエコバック(買い物袋)を持参していただき、レジ袋の受け取りを辞退する運動で、ゴミの減量と石油資源の節約を図るものです。

この運動を市民の皆さんに実践していただくため、また、地場産業の活性化を図る目的も組み合わせ、三河木綿で作製したエコバックを配布します。

自然と調和した潤いあるまちづくり

●さがらの森運営計画の策定

豊かな自然環境を持つさがらの森(旧相楽山荘)を、市民の皆さんが手軽に利用できる里山となるよう、環境整備・保全に努めていきます。

また、地域の皆様と一緒になっ

て、森づくりや森遊び、森林の利用などについて、実践を含めた講座を開催し、これからのさがらの

森の活用、運営管理についての計画を策定していきます。



明るく元気なまち蒲郡

文化の薫る
にぎわいあるまちづくり

●蒲郡市史の発刊

市制50周年の記念事業として、原始古代から現在に至るまでの蒲郡の歴史を集大成した「蒲郡市史」本文編を発刊します。この市史は、市民の皆さんから提供された資料などを使って「わかりやすい市史」を目指しています。

本年度内に、①原始古代・中世②近世③近代・民俗④現代で構成された市史4巻を、一括して発刊し、一般頒布する予定です。

産業の振興と経済の活性化

●観光ビジョン策定事業

蒲郡は、古くから東海地区を代表する観光地として栄えてきました。しかし、地域経済をリードしてきた観光産業が、長引く景気低迷、価値観の多様化などの影響で厳しい状況にあります。

このため、新しい時代、新しい価値観に対応できる観光地づくりを目指して、観光業界はもろろんのこと、市民、地場産業界、行政が一体となり、5年後10年後を見すえた新しい観光蒲郡の将来ビジョンを策定します。

人と情報が行き交うまちづくり

●蒲郡市民電子会議室の開設

新しいコミュニケーションづくりや市民活動支援のため、市民同士および市民と行政が、インターネットで相互の情報交換や情報共有などを行うことができる、市民電子会議室を開設します。

この会議室が、市民の皆さんの会議室となるよう、運営は市民の運営委員が行い、運営管理は市民活動支援を目的とした特定非営利法人に委託します。